

令和4年3月25日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

山口県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
上関町立上関小学校	上関町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
上関町立 上関小学校	https://www.town.kaminoseki.lg.jp/kamisho/gakkoudayori/R3gaikokugohyouka.pdf

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
上関町立 上関小学校	https://www.town.kaminoseki.lg.jp/kamisho/gakkoudayori/R3gaikokugohyouka.pdf	

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
 一部、計画通り実施できていない
 ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

町単独で雇用している ALT を効果的に活用し、コミュニケーション能力を重視した学習を行うことができている。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
 実施していない

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

上関町は、児童生徒のコミュニケーション能力の向上と、自己肯定感の向上を目的として平成21年度から教育課程特例校としての認定を受けている。

本町は、人口約2500人、児童生徒数100人以下の小さな町であるが、町単独で外国語講師を雇用し続けるなど、17年前から小学校外国語活動の取組に力を入れている。これらの取組により、すべての外国語活動の授業でALTとのチーム・ティーチングが可能となり、小中学校間の円滑な接続にも役立っている。

また、小学校低学年から外国語活動に取り組んできた成果から、コミュニケーション能力の素地を養う段階を超え、基礎を培うという水準であると捉えている。

学校が実施したアンケート結果から、外国語でのコミュニケーションによって、他者と関わることのよさを改めて感じたり、より積極的に関わられたりする姿も成果の一部として見られている。

一方、積極的なコミュニケーションが人間関係調整力の高まりには十分につながっていない課題も見られる。学習したことによって、日常生活が豊かになるような働きかけを今後一層行っていきたいところである。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

1に記載するURLにおいて公表している特別の教育課程について、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する小学校等の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、上関町教育委員会において確認済である。

4. 課題の改善のための取組の方向性

小学校では、現行学習指導要領において3・4年生で外国語活動、5・6年生で外国語科が始まったことを受け、教育課程特例校の申請を令和3年度で終了することとした。

町として、外国語活動に力を入れていくことは継続していくので、今後は、これまでの成果を踏まえつつ、特色ある教育課程を全教職員がマネジメントし、児童生徒にとって最良の学習環境が整うように関係者一同で尽力していきたい。

特に、課題としてあげた学習内容と日常生活のつながりについては、広くカリキュラム・マネジメント全体から現状を見取り、児童生徒の確実な成長につなげていきたい。また、そういったPDCAサイクルの確立を図っていきたいと考えている。